

No. 151

令和2年3月4日

【発行】

豊橋市立青陵中学校 校長室

asai-hideo@toyohashi.ed.jp

Rising Sun



早くシューソクしてほしいっ！



人生には三つの坂がある。上り坂、下り坂、そしてまさか。

まさか、こんな事態になるとは、ゆめゆめ思ってもいませんでした。中国武漢市が感染源だとされる新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の拡大で、学校が臨時休校になるなんて、1か月前、誰が予想していたでしょう。生徒たちにとって一生に一度きりの卒業式までもが縮小を余儀なくされてしまい、悔しい思いのもって行き場がありません。私がこうなのですから、3年生職員はなおさらでしょうね。

しかしながら卒業生は立派でした。落ち着いた行動、規律ある態度、残念とか悔しいとかいった複雑な思いもあったでしょうが、そんな感情は微塵も見せず、立派に卒業していつてくれました。そんな姿をまのあたりにし、「さすがは青陵中生！」と思わずにはいられませんでした。

新型コロナウイルスの研究が徐々にではありますが進み、その特徴などが明らかにされつつありますが、私たちの生活への影響は甚大です。「トイレトペーパーがなくなる」「紙おむつも底をつきそうだ」などといったデマがデマを呼び、事実になってしまっている状況もあったりして、「とにかく早くシューソクしてほしい」は、全国民共通の願いです。

ところで、このようなときに使う「シューソク」は漢字ではどう書くのでしょうか。「収束」それとも「終息」でしょうか。どちらも同じような意味合いのようにも思えますが、詳しく調べてみました。

「終息」と「収束」とは非常に意味が近いのですが、使い分ける必要があります。

まずは「終息」についてです。「終」は文字どおり「終わる」という意味ですが、「息」という漢字にも「止くやゝむ」という意味があります。つまり「終息」は、似た意味の漢字を二つ重ね合わせて「完全に終わる」という意味になっていると考

えることができます。

次に「収束」について説明します。これは「収まる」「束ねる」ということから、「(状況・事態などが)ある一定の状態に落ち着く」という意味になっています。ふつう、「(例えば新型肺炎の)問題・感染状況」などについて使うことが多く、「新型肺炎」といった病気自体が「収束する」という言い方(書き方)は、あまりしません(なお、似たことばとして「集束」というものもありますが、これは「光の束が一か所に集まること」を意味する物理学の専門用語です)。

ここから、新型肺炎の「完全制圧」の場合には「終息」、(完全制圧ではないにしても)新型肺炎に関する(社会的)状況などがかなり落ち着いてきた場合には「収束」、ということになります。

「宣言」する場合には一般に「完全制圧」でしょうから、「新型肺炎終息宣言」なのです。

いっぽう次のような場合には、表記としては「終息・収束」のどちらもあり得ます(意味はそれぞれ異なることに注意)。

「A国では感染の広がりがシューソクに向かっている。」

「(新型肺炎の問題が)シューソクすればA国を訪問する。」

「(新型肺炎の問題が)早くシューソクしてほしい。」

もうおわかりかと思いますが、「終息」は「完全制圧」であるのに対して、「収束」の場合には、ほぼ事態が収まっていることを意味します。例えば音声コメントにスーパーをつける場合、その人が「終息」と「収束」のどちらの意味で発言したのか、注意が必要でしょう。